

〳日本最後の若〳骨法が
バーリトゥードで
撃沈してからおよそ20年!



日本武道傳骨法創始師範

堀辺正史

“恥”は武士道の核心部分だといえます。
ただし、恥というものに対して、
現代日本人は誤解がある!

聞き手/谷川貞治 合いの手/山口日昇

かつて格闘技界に一大旋風を巻き起こした骨法。96年に当時の門弟が満を持してバーリトゥードに出陣したが、結果は惨敗に終わった。あれからおよそ20年近くが経ったいまも“日本武道”の復興に身を捧げている堀辺正史氏。武士道やサムライの歴史についても造詣が深い堀辺氏に、「恥」とは何かを聞いてみた。

「恥」と「恥」の概念の違い、
サムライの切腹はなぜ必要だったのか

谷川 堀辺先生、お久しぶりです! お元気でしたか?

堀辺 元気でやっています。心臓の手術をしたりと、まあ、いろいろあります。私は74歳になります。思えば、ずいぶんと時間が経ちましたね。

谷川 ボクもいろいろと大変だったんですよ。K-1が破産してしまいました……。

堀辺 K-1の社長をやったんですよ?

谷川 はい、それで僕が負債と責任を一手に被ることになりました。50歳になって全てを失いました。

堀辺 失いましたか!

谷川 そうなんですよお。

堀辺 山口さんはどうしてるの?

山口 僕はPRIDEのマッチメイクとか裏方みたいなことをやったあと、ハッスルというエンターテインメントのプロレスイベントの運営をやりました。

堀辺 ああ、知っています。

山口 で、だいはしよりますが失敗しまして。すべては自分の不徳の致すところなんです。谷川貞治と同じく、大借金を背負ってしまいました。

堀辺 背負いましたか!

山口 はい。我々は大借金を背負っている身ではあるんですが、そんななかでも、プロレスや格闘技を経て、今時代はようやく「武道」というか、「道」の入口に辿り着いたんだろうな、ということを実感したりもしてるわけです。

谷川 もう武道しかないですよ。UFCを見ていると全然おもしろくないです。

堀辺 たしかに初期の頃は様変わりしましたし、見てもおもしろくない。それだけじゃなくて、不愉快。

谷川 不愉快! それはなぜですか?

堀辺 登場している人物に品性がなく、社会では通用しないような人たちが集まってやっているイメージがある。

谷川 ああ、刺青したチンピラのような。

堀辺 社会から弾き出された大人の不良の自己満足という感じ。そして、貧困。実際にはお金を持っているとしても、本人から発散されてくるものが貧困。全部がそうじゃないにしても、そんな印象を受けますね。そういうものは誰も見たくない。

谷川 肉体的な進化とか、技術的な向上とかは初期の総合格闘技に比べれば格段に上がっているんですけど、とにかくおもしろくないですよ。

堀辺 それは精神に情念がないから。もうセオリーがわかっていて、最低限これをやればいいと思ってるやっつけか。初期の頃は下手したらボコボコにやられるんじゃない